



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：ラフサンジャーニー専門家会議議長の退任

(3月8日)

3月8日、イランの専門家会議が新しい議長を選出した。新議長は、保守派のモハンマド・レザー・マフダヴィー・キャニー師である。マフダヴィー・キャニー師は、故ホメイニー前最高議長から厚い信頼を得た人物で、ハーメネイー最高指導者からも信頼を得ているという。

前議長で保守穏健派のラフサンジャーニー元大統領（現公益評議会議長）は立候補を見送った。専門家会議は定数 86、イスラム法学者で構成され、最高指導者を選出、罷免、監督する権限を有するが、実際は死亡時の後継者選択が役割となる。改革派指導者らへの対応が不十分だとして、ラフサンジャーニー師は保守派から批判を浴び、保守派の圧力に屈する形で、マフダヴィー・キャニー師出馬で身を引いたという。ラフサンジャーニー元大統領は、立法上の意見対立を調停する公益評議会議長として指導部に留まるものの、影響力は限られるため、今後、穏健派や改革派の発言力が低下すると見られる。

**モハンマド・レザー・マフダヴィー・キャニー (Mohammad Reza Mahdavi Kani)**

- ・ 1931年4月8日、テヘラン州キャンに生まれる。
- ・ 1947年、シーア派聖地コムに移り、タバータバーイー師、ボルージェルディー師、ホメイニー師の下で14年間学ぶ。
- ・ 1949年、ナッヴァーブ・サファヴィー率いるフェダーイヤーネ・エスラームとともに政治活動を開始するが、数回に渡って逮捕される。
- ・ 1975年、故ターレガーニー、ラフサンジャーニー師とともに逮捕、4年間投獄される。
- ・ 1978年、ホメイニー師の命により、革命評議会メンバーに任命。
- ・ 1978年、テヘラン闘う聖職者協会（保守派系）を創設。1979～1996年まで同会事務総長を務める。
- ・ 1979年のイラン革命以降、ホメイニー師委員会委員長、イスラム革命委員会監督者、社会福祉庁におけるホメイニー師名代、大統領・首相仲裁委員会におけるホメイニー師名代などを歴任。
- ・ 1980～1981年、内務相（前任はアリー・アクバル・ハーシェミー・ラフサンジャーニー。後任はアリー・アクバル・ナーテグ・ヌーリー）。
- ・ 1980～1983年、憲法擁護評議会メンバー。
- ・ 1981年9月2日～10月29日、首相（前任のモハンマド・ジャヴァード・バーホナル首相

が爆殺された後に就任。後任はミール・ホセイン・ムーサヴィー)。

- ・首相を務めた後も、文化革命最高評議会メンバー、憲法改正起草委員会メンバー、第2期特別評議会常任評議員、全国モスク査察センター長官などを歴任。
- ・2011年3月8日～、専門家会議議長（前任はアリー・アクバル・ハーシェミー・ラフサンジャーニー）。

#### アリー・アクバル・ハーシェミー・ラフサンジャーニー (Ali Akbar Hashemi Rafsanjani)

- ・1934年8月25日、ケルマーン州ラフサンジャーニーに生まれる。
- ・1989年8月3日～1997年8月2日、イラン・イスラム共和国第4代大統領（元首はハーメネイー最高指導者）。
- ・2007年7月25日～2011年3月8日、専門家会議議長（後任はモハンマド・レザー・マフダヴィー・キャニー）。

(研究員 山崎 和美)